

## 第5回日本音楽療法学会関東支部 都県別講習会（神奈川）開催のお知らせ

拝啓。残夏の候、会員の皆様にはご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の第5回日本音楽療法学会関東支部都県別講習会（神奈川）を昭和音楽大学で行います。

午前は、昨年度同様に会員の皆さんから未発表事例を募集し、症例報告検討会を行います。受講者にとっては事例をまとめる経過を聞くことを通して、自分の臨床のまとめや事例研究の学びの場になると考えています。

午後はアンケートで希望の多かった「音を使ったワークショップ」を2枠企画しました。「こころとからだ」「楽器アンサンブル」など音楽療法士にとって興味深いテーマです。是非ご参加ください。

日時：2016年11月20日（日）10:00～16:00（受付9:30～）

会場：昭和音楽大学 A311 教室（新百合ヶ丘下車徒歩5分）

内容：10:10～11:40「症例報告検討会」会員による臨床現場の報告

11:50～12:30 地域別交流・昼食（昼食をご持参の上、参加してください）

13:00～16:00 ワークショップ

**症例報告検討会**：学会の認定音楽療法士の資格取得を目指している方、事例を書きたいと考えているがどうやってまとめて良いかわからず悩んでいる方、事例をまとめるにあたりサポートを受けたいが相談する人がいない方などが対象です。特にお一人で現場を持っている方には、客観的にご自分の現場を振り返る意味でも、この機会に事例をまとめてみることをお勧めします。事例をまとめるにあたり、神奈川県幹事がサポート体制を整えて発表までお手伝いします。この講習会での事例発表は発表ポイントを得ることはできませんが、学会や関東支部大会などで事例発表を目指す方には引き続きサポートします（これまで4名が全国大会等で発表されました）。今回から、一般講習受講生で事例発表に応募される方が、希望し条件を満たすことによってスーパービジョンのポイント対象となります。詳しくは次ページをご参照ください。

### ワークショップの紹介

#### ① 「響きあうこころとからだ」～からだに聴く、からだで聴く～

身体と心の関係は相互的なものです。音楽を用いて行うこの身体技法は、シンプルな動作を通して、身体から心に、心から身体に働きかけます。心身ともにリラックスして、自己と、他者と、自然との繋がりに耳を傾けてみましょう。当日は、動きやすい履物、服装でご参加ください。

【講師紹介】藤本静江：日本音楽療法学会認定音楽療法士。現在、母子・児童から成人（精神科）、高齢者（介護予防）まで幅広い対象に音楽療法を行っている。特に「身体と響き、音」の関係に強い関心を持ち

身体技法「気流法」の稽古を継続。自身の音楽療法実践にも、身体の動きと結びついた歌や楽器のワークを取り入れている。

#### ② 『打楽器ワークショップ』五感をフルに生かし、アンサンブルを通して音でコミュニケーションを！

様々な打楽器の奏法を、身体を動かしながら学び、打楽器に触れながら、音やリズムの出し方を追求してみる。アンサンブルを通して『コミュニケーション力』『表現力』『リズム感』を高める。

【講師紹介】神田佳子：横浜生まれ。打楽器奏者。東京芸術大学卒業及び同大学院終了。現代音楽を軸に、様々な分野での即興演奏や、正倉院復元楽器の演奏、ジャズミュージシャンとの共演等、時代やジャンルを超えた打楽器の可能性にアプローチしている。

参加受付：9月20日より開始。定員（80名）に達し次第、締め切らせていただきます。

ワークショップの定員はそれぞれ40名です。（ワークショップのみのご参加はできません）。

申込方法：以下を明記の上 [kanagawa@jmta-kanto.jp](mailto:kanagawa@jmta-kanto.jp) 宛てにメールにてお申し込みください。

1. 氏名（フリガナ）
2. 参加枠：会員（会員番号）（支部会費の納入有り/無し）一般・学生のいずれか等
3. ご住所
4. 電話番号
5. アドレス
6. ワークショップのご希望（①—A～C または ②—A～C）

参加費用： ※A枠B枠C枠の順で申し込みを優先します。

申し込みの条件		ワーク①に参加希望		ワーク②に参加希望 (楽器使用料500円を含む)	
A	2015年度の関東支部会費を納入している 神奈川県の子会員、関東在住学生会員	① — A	1,000円	② — A	1,500円
B	2015年度の支部会費を納入している 神奈川県以外の関東支部会員	① — B	1,500円	② — B	2,000円
C	2015年度の支部会費を納入していない方 一般の方	① — C	2,000円	② — C	2,500円

2016年度に入会された会員は、関東支部会費をすみやかに納入されることを条件にA枠で参加できます。

受講証明書：資格認定・更新のポイント（講習会参加）を取得できます。当日受講証明書を発行いたします。

キャンセルについて：お蔭さまで「都県別講習会 神奈川」には毎年たくさんの方から申し込みを頂いています。残念なことです。キャンセルの連絡もなく当日欠席される方がいます。キャンセルのご連絡があれば、キャンセル待ちをしている会員に参加して頂くことができますが、当日になっての欠席ではそれもできません。申し込み後参加できなくなった方は、なるべく早く申し込み時のメールアドレスにご一報ください。

スーパービジョン(以下S.V)のポイントについて：

- ◆ 日本音楽療法学会一般コースを受講して、日本音楽療法学会音楽療法士の認定資格取得を目指す方が対象。  
(補)受験に必要な項目の中に、S.Vの受講(必須)があります。1事例1時間以上の個人的に受けたS.Vで、対面による事例に関するやり取りをすることなど、ポイントを申請するための条件がいくつかあります。  
S.Vによるポイントは1回につき10ポイントで3回以上、50ポイントが上限です。詳しくは認定規則(一般コース)14ページをよくお読みください。認定規則書の記載条件を満たした場合、今回の事例をまとめて報告するまでの過程がスーパービジョンと見なされ、S.Vポイントの対象となります。
- ◆ S.Vのポイントを希望する事例発表決定者は、エントリーフィとして1万円を1週間以内に関東支部事務局に振り込んで頂きます。振り込み確認の後に、スーパーバイザーをご紹介してサポートが開始されます。
- ◆ S.Vのポイントを希望しない事例発表決定者は、これと同様に費用は生じません。

※事例発表者も必ず参加の申し込み手続きをして下さい。

※支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/index.html> の詳細/変更などを必ずご確認ください。

## 「症例報告」募集要項

### <応募にあたっての留意点>

- 報告者は、お申し込みの時点で、日本音楽療法学会関東支部会員（神奈川県）で2015年度の年会費を納入されている方に限ります。
- 応募多数の場合は、症例の対象分野等を検討し、運営委員会で決定させていただきます。
- 対象者本人または保護者や家族、施設や機関の同意を得てください。  
学会発表同様に同意書は、責任を持って保管して頂き、必要に応じて提出してください。
- 事例についての口述報告です。対象者の分野は問いません。セッション形態は個人でも集団でも構いません。発表、質疑応答、座長のコメントを含めて1つの報告につき45分の予定です。
- 今回の企画では、まとめ方や内容、発表方法などについて事前にナビゲーター（発表経験のある支部会員）の助言を得ながら報告をしていただくことができます。発表に慣れていない方も、是非この機会をご利用ください。
- 日本音楽療法学会一般コース受講生は、この間の相互の検討をスーパービジョンとしてポイントの対象とすることができます。必ず申し込み時に申告してください。エントリーフィー1万円が必要になります。報告の可否の連絡後1週間以内に関東支部事務局に振り込んでください。  
ナビゲーターとの打ち合わせは振り込みが確認されてから開始されます。
- スーパービジョンのポイント取得を希望しない報告者は、エントリーフィーの振り込みは必要ありません。

### <申し込みについて>

- 下記の項目を記入して、都県別講習会専用アドレス [kanagawa@jmta-kanto.jp](mailto:kanagawa@jmta-kanto.jp) に送信して下さい。
  - ・報告者の氏名・会員番号・所属・連絡先（メールアドレス）・電話番号（日中連絡可）
- 以下の項目について、Wordで文書を作成し、申し込みのメールに添付してください。
  - 1) 症例の概要：対象者もしくは対象集団の概要を100字程度にまとめて下さい。
  - 2) セッションの構造：時間、頻度、場所、スタッフの配置、その他セッションの特徴など
  - 3) この症例報告で伝えたいこと：本症例報告のアピールポイントを300字程度にまとめて下さい。
  - 4) セッションの記録の有無、一般コースに対応したスーパービジョンのポイント取得希望の有無※応募の際の体裁は問いませんが、報告にあたっては、学術大会の発表要旨集と同様にA4サイズ1頁のレジメを作成していただきます。

※症例報告者も必ず参加申し込みをしてください。

### <発表機材について>

- パワーポイントなどを用いて報告される場合、ご自身のPCをご持参ください。プロジェクターはご用意いたします。その他DVDなどの使用のご希望は、応募の際にご記入ください。

### <応募の締め切り>

- 2016年9月30日 上記アドレス必着

※報告の可否は、2016年10月10日頃にメールにてお知らせいたします。

ナビゲーターとやりとりのやりとりを経て、当日用のレジメを提出してください。

### <発表までのスケジュール>

- ①9/30まで概要の提出→②（多数の場合）運営委員会で選択→③10/10頃採択通知→

④ナビゲーターの助言で内容・形式を整える→⑤11/10 レジユメの提出→⑥11/20 発表